

向日葵が満開を迎えております。暑さの中、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？プール遊びやどろんこ遊び、虫捕りなど、夏ならではの遊びも沢山ありますね！暑さに負けずに親子でたくさん体を動かした後は、モリモリご飯を食べて、しっかり睡眠をとりましょう。



注意しましょう！流行っている感染症

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは夏に多く見られるウイルス性の感染症です。口の中に小さな水疱ができて食欲がなくなったり、急な高熱や頭痛など風邪のような症状が出たりします。

感染力は強く、飛沫や手指を介して広がります。通常 1 週間ほどで治りますが、発熱や水疱の痛みには解熱剤や鎮痛剤を使って対処してください。

また、脱水に注意し、水分をこまめに摂るようにしましょう。



RSウイルス感染症

RSウイルスは感染者の咳やくしゃみによる飛沫感染や、ウイルスが付着した手指や物品を介した接触感染によって鼻や口からウイルスが入り込みます。

潜伏期間は 2～8 日で、主な症状は発熱、鼻水、咳などですが、重症化すると気管支炎や肺炎になることもあります。

※通常は秋から冬にかけて流行しますが、近年は夏期にも流行する傾向があります。



ヘルパンギーナは回復後も3～4週間程度便からウイルスが排出されるので、十分な手洗い・うがい・手指消毒を心がけてください。



RSウイルス感染症も基本的には自宅での安静と水分補給が中心です。重症化した場合は入院や酸素吸入などが必要になることもあります。予防には、手洗いやマスクの着用、人混みを避けるなど基本的な感染対策が大切です。

熱中症について

熱中症は、顔がほてる・体が熱くなる・吐き気・おう吐・気分が悪くなる、などの症状がでます。屋外だけじゃなく、室内でも熱中症になります。十分に気をつけましょう。熱中症を疑ったら下記の対処法や医療機関への目安を参考にしてください。



◎涼しい場所に寝かせる

日陰やクーラーの効いたところ等で、涼しい場所に移動し、衣服をゆるめて楽にさせます。湿ったタオルなどで体を拭き、うちわであおぎます。首・わきの下・足の付け根に冷やしたタオルなどをあてて体を冷やします。



◎水分をとる

少量の水分(スプーンひとさじずつ)を数回に分けて与えます。多量の水は嘔吐をするので避け、電解質の入っている経口補水液(OS-1 など)を与えましょう。

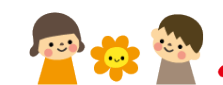


こんな症状が出たら医療機関へ

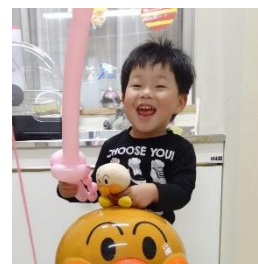
- ・唇が乾いている
- ・尿の量が少ない
- ・顔色が悪く、呼びかけに反応しない
- ・体温が40℃以上
- ・けいれんを起こしている



病児保育室情報



できる事なら自宅で看病してあげたい…でも仕事が…お子さんの体調不良時、多くの保護者の方の悩みですよね。そんな時はぜひ病児保育室も選択肢に入れて下さい。常駐の看護師と保育士で少人数ならではの看護と保育でお子さんが楽しく過ごせるよう準備してお待ちしています。みんな笑顔ですごせていますよ(^-^)



利用の仕方がわからないなあ、初めての場所で大丈夫かしら、などご不明な点がございましたら下記へお気軽にお電話下さい。見学も可能です。(平日8-17時)



お問い合わせ先 ☎090-1664-6779(病児保育室直通)

